Ja-Net 季刊ジャネット
April 2018　No. 85
Ja-Net は Japanese Network の略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。
スリーエーネットワーク

Contents 目次

2018 年 4 月 25 日発行

● View from the Other Side …… 3
チェ・ジョンパルさん（韓国）
● あちこち日本語ご紹介〈国内編〉…… 4
鹿児島県　奄美市
● あちこち日本語ご紹介〈海外編〉…… 5
クロアチア共和国　ザグレブ
● 教材紹介 …… 6
『新完全マスター読解 日本語能力試験Ｎ４』
『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語―就活から入社まで―』
『留学生のための 時代を読み解く上級日本語 第３版』
『ＢＪＴビジネス日本語能力テスト 聴解・聴読解 実力養成問題集 第２版』
『ＢＪＴビジネス日本語能力テスト 読解 実力養成問題集 第２版』
● なんでも情報 BOX…… 8

巻　頭
寄　稿

大相撲と日本理解と日本語教師と

時事日本語学院　常任顧問
金照雄

大相撲は日本文化の宝庫

韓国最大手の日本語学校、ソウルの時事日本語学院には、ロビーにテレビが据えてあり、終日ＮＨＫの放送を流しています。学生たちに少しでも日本のものを見て聞いて知ってもらおうというためですが、大相撲中継の時には、学生ではない高齢者が一人、テレビの前に陣取ります。相撲ファンの筆者です。

日本の大相撲は 2004 年にソウルとプサンで韓国巡業を行っているのですが、当時は韓国人力士（春日王）も幕内で活躍していたため、関心が高まったこともありましたが、現在はすっかり馴染みの薄い存在となっています。

おかげで、学院のロビーで相撲中継を見ていると、学生たちの妙な会話を耳にすることになります。

学生Ａ：「何撒いてんの？　あれ。」
学生Ｂ：「塩じゃないの。裸でやってるから倒れたら擦りむくし、土の消毒だよ。」

韓国ではトホホな大相撲ですが、大相撲には日本固有のものが溢れていて、日本の文化を理解する上では大変いい教材になります。力士の髷（まげ）や褌（ふんどし）、行司の軍配や短刀、横綱の注連縄（しめなわ）に弓取の弓、そして吊屋根の鰹木（かつおぎ）に四股名（しこな）を書く相撲文字などなど。

相撲には日本固有の文化も溢れています。日本の神道に根差した相撲は、土俵を「神が宿る神聖な場所」と考えますから、力士たちは塩を撒くことで土俵から邪気を祓いますし、横綱はチャンピオンベルトではなく、神道の祭具を腰に巻いて土俵入りをします。また、神聖な土俵にツバが飛ぶのを恐れて、呼出（よびだし）は口の前に扇子を広げて力士の名を呼び上げますが、そんな大相撲の呼出の姿に敬虔（けいけん）さや美しさを感じられるかもしれません。でも、異和感は残るでしょう。「あれ？大相撲って宗教儀式なの。スポーツじゃないの。」ということになりそうです。

たしかに、大相撲の目に見えない文化の極め付きは、強いだけではチャンピオン（横綱）にはなれないというルールがあることでしょう。相撲には、「心（しん）・技（ぎ）・体（たい）」というゴールがあって、この三つの頂点を極めた者だけが横綱になることができるため、プロスポーツの世界からは、「技・体はいいとして、心（しん）て何さ。試合の結果が全てでしょ？」と首をかしげられてもしかたありません。しかし、この「心・技・体の具現」という価値観こそ、相撲という格闘技の核心であり、日本が相撲を国技として、この価値観を守り続けていることは、日本文化の特徴のひとつとして理解する必要があると思われます。

相撲に限らず、目に見えない文化はすぐには気づかないものですし、気づいても理解に手こずるものですが、この内面へのアプローチと理解を欠いては、異文化理解は薄っぺらいものに終わってしまいます。

しかしながら、韓国の日本文化に対する理解は、なかなか厚みを増す方向へとは進みません。

韓国の日本理解

韓国の反日感情が根強いことは周知の通りですが、この反日というのは文化理解においても、日本のいいところは見ない、見えてもそれについては考えないということです。いい奴だと分かっては反日が成り立ちませんから。反日もさることながら、もともと韓国は自国の文化に自負心が強く、他国の文化を軽んじるところがフランスや中国に

も負けないくらいあります。特に日本に対しては、「漢字も仏教も焼物も儒教も、みんな我々が伝授した。日本にモノマネの技術はあっても、固有の文化なんてあるの？」という日本文化軽視の社会通念が視野を遮ります。

筆者は在日２世として韓国に留学中、留学先の大学で日本語教師となり、日本語教育の仕事に 40 年以上携わってきましたが、ある時期から強く感じるようになったことが二つあります。ひとつは、「言葉はイコール文化ではない」ということ、もうひとつは「韓国の日本理解は深まったのだろうか」という疑問です。

よく「言葉は文化なり」と言われますが、文化は常にそれに関心を持って近づかなければ知らないままで終わってしまいます。そのため、日本語はよくできるのに、日本のことを知らない学生が出てきます。「日本語ができる」は「日本を知っている」とイコールにはならないのです。それともうひとつ、「日本を知っている」人たちは、88 年のソウルオリンピックを境として韓国社会からどんどん姿を消していきました。戦前に日本の学校教育を受けた人たちです。この人たちには、忘れがたい反日感情はあっても日本の歴史や文化に対する知識と理解がありました。しかし、90 年代以降の韓国社会では、日韓の交易拡大と人の往来の増大にもかかわらず、また、世界第２位の日本語学習人口にもかかわらず、日本の価値観などの見えない文化に対する理解は深まっているようには感じられません。もちろん、日本のポップカルチャーや食文化など、目に見える文化に対する興味と関心は、最近では幅広い領域にまで広がっていることは事実です。しかし、トータルな日本理解には、更に何かが必要となるはずです。

ピョンチャンオリンピック、パラリンピックが終わり、韓国でも東京オリンピックが視野に入ってきました。正式種目に加わった空手に、日本は組手競技のほかにも型競技を加えました。「型」も日本文化の特徴と言えます。「外が内を磨く。外の完成度は内の完成度を意味する」と考えるため、日本文化は「型」や「形」を非常に大事にします（柔道、剣道、相撲から茶道や日本舞踊まで）。贈り物の包装に日本人が神経を使い、お金を包む時も贈る人の誠意を表すために、折目正しく美しい祝儀袋や香典袋を用意するのも、この「型」の価値観と無関係ではないようです。

本学院の学生と教師。Ｖサインの３名は、この日、有名校への推薦入学が許可された

「型」と並んで、スポーツなどの競技では、日本の勝負というものに対する考え方も顔をのぞかせます。「勝負に勝つということは、敗（ま）ける相手がいるからだ。勝者もいつかは敗者になる。だから敗者に対する礼を欠いてはならない。」という考え方から、日本は敗者に対して礼を欠く行為、おじぎもせずに飛び跳ねたり、国旗を振り回したりする行為には眉をひそめます。一方で、敗北を素直に認める潔い態度には拍手を送ります。「日本人が何を好み、何を嫌い、何に心を打たれ、何を尊ぶか」ということに対する理解は大変重要です。日本の価値観を始めとした見えない文化は、日本の政治、経済、社会の内側に流れていて、これが様々な影響を及ぼすことは少なくないからです。

この日本の見えない文化に対する理解の必要性は、韓国の日本語教育の場でも現実問題として浮上し始めています。

韓国に必要な日本語教師

最近、韓国では日本の大学へ進学を希望する学生が増えてきており、時事日本語学院でも、現在約千名が日本留学の対策コースで勉強しています。そのため、日本人教師の役割が、これまでの会話指導から受験時に必要な面接や小論文の指導へとシフトしつつあります（入試面接や小論文といったものは、多分に日本的な要素を含み、合否の判定に日本の価値観が絡むものですから）。今年は約 300 名が、日本各地の大学に入学しましたが、送り出した生徒の中からは、わずかとはいえ中途で帰国する学生も出ます。留学生活にうまく適応してもらうには、合格後に日本理解のための授業を行う必要性が出てきています。

一方、韓国の大学では、日本で働くことを希望する学生が増えています。韓国は今、大変な就職難で、この活路を人手不足の日本に求めようとしています。そのため、就職面接や入社後の日本での生活に役立つ内容を加味した、ビジネス日本語講座を立ち上げるところも増えてきました。韓国では、大学においても民間の学院においても、日本語だけでなく、日本理解の比重が大きくなっています。

ところで、相撲の「心・技・体」が日本語教育にもあるとすれば、それは「Why（なぜ教えるのか？）What（何を教えるのか？）How（どう教えるのか？）」ではないでしょうか。What と How は養成講座などで学ぶことができますが、Why は自分自身で見つけなくてはなりません。学院の日本人教師の採用面接で、「どうして韓国なの？」と聞くと、十中八九は「韓国が好きで韓国に興味がありましたから。」という答えが返ってきます。大変ありがたいことで、韓国で教える上でも大切なことですが、今、韓国は色々な意味で「日本が好きですから。」「日本にも韓国と同じように、長い歴史と文化があることを知ってほしいですから。」と答える教師を求めています。

金照雄（キム・ジョーウン）

1949 年京都市生まれ。大阪外国語大学朝鮮語学科卒業。卒業後、延世大学校に留学、李朝文学を学ぶ。その後延世大学校 外国語学堂 日本語科主任、仁荷工業専門大学 助教授を経て、時事日本語社（出版社）専務、時事日本語学院 院長を歴任。2006 年、ライセンス教材の出版事業や著書「Quiz JAPAN」などを通した日本紹介を認められ、第７回日韓文化交流基金賞を受賞。現在は、現職のほかに韓国日本語教育学会などの理事として活動中。

学習者の目 View from the Other Side

このコラムでは、学習者の視点での話題をお届けします

りんごで笑顔と幸せを

山形でりんご農園を経営されているチェ・ジョンパルさんに聞きました

―2018年冬季オリンピック・パラリンピックが開催されたピョンチャン（平昌）ご出身だそうですね。

24年前の僕は24歳で、大きな夢と少しばかりの不安をつれて、平昌を離れ大都会の東京へ来たことを思い出しました。期間中は、朝から夜までテレビにかじりついて観ていました。次々と行われる競技に、トイレに行くタイミングが合わず大変だったな！ 故郷の山並みは変わらず静かで、街が映されるたび、友人や親せきの顔が映るのではと思いながら応援しました。立派になった故郷を誇りに思いました。

―日本に留学しようと思ったのはどうしてですか。

専門大学卒業後、なかなか就職ができず悩んでいたころ、韓国には日本人の観光客がたくさん来ていました。悩むくらいなら再スタートをと思い「そうだ！　日本に行こう」と決めたのです。日本語を覚え、観光ガイドになれればと単純に思っていました。

来日後、日本人や日本文化に接するうちに、もっと日本を知りたい、もっと日本語を学びたいという気持ちになり、在学していた東京国際日本語学院の先生のアドバイスもあって、田舎の平昌と気候や植生（しょくせい）が似ている宮城県農業短期大学に進学しました。帰国後は家業である農業をしたいと思ったからです。

―農業を勉強されたんですね。山形にいらしたきっかけは何でしょうか。

大学では素晴らしい恩師や多くの友人に出会い、とても楽しく過ごすことができました。夏休みは北海道の酪農家、冬休みはシイタケ農家で日本の農業を体験しました。金銭的に余裕のない僕に、大学の農場を管理するアルバイトを紹介して下さった先生とは今でも交流があります。すべて、農業につながる新鮮な体験でした。その後、大学の同級生だった妻と結婚し、妻の実家の山形の農園を継ぎ、りんご農家になりました。何かに導かれるように、うまく自分の人生が進み、今は家族4人幸せに田舎暮らしを満喫しています。

チェ・ジョンパル（崔鍾八）

1970年 韓国 江原道平昌郡生まれ。1991年 韓国 慶北実業専門大学電子計算科卒業。1997年 東京国際日本語学院卒業。1999年 宮城県農業短期大学農業科卒業。 仙台の宮十造園土木（株）入社。2002年 日韓ワールドカップ通訳ボランティアに従事。結婚を機に山形県朝日町に移住。現在、りんご農家16年目。妻、長男、長女の4人家族。

清野りんご園ウェブサイト
http://www.47club.jp/07M-000037sre/

―山形は方言もありますね。

仙台では「～だっちゃ」、山形では「～だべ」「～ずぅ」など第2、第3の日本語を習得することができました。会話中に出てくる方言は、すぐに意味を尋ねて覚えて、友人には迷惑かもしれませんが、会うたびに方言を使ってみるようにしています。愛らしく親近感のある方言が僕は大好きです。

山を一つ越えればなまりが違う、習慣が違う、もちろん食文化も違う。何もない田舎かもしれませんが、僕は大きな宝物を見つけたように思います。

―りんご農園のお仕事はいかがですか。

最初は苦労もありましたが、親や先輩方の指導もあって、現在は妻と2人3脚でりんご農家として自立していると思っています。春夏秋冬、それぞれの時期にそれぞれの仕事があり、一年365日があっという間に過ぎてしまいます。春は一面に白いりんごの花が咲き、秋は真っ赤なりんごがたわわに実る。汗をかいた分だけ爽快感も大きくなるのが農業なのかな。

お客様から「おいしいりんごだったよ」「来年も頼むな」と言われると本当に嬉しいです。妻の祖父母がりんご園の土地を開墾し、父母が立派なりんご園に育て、3代目の僕たちはその恩恵を受けています。小さくても豊かな農業をめざしてこれからも張り切っていきます。

年2回「りんご園便り」というニュースレターを発行しています。内容は農作業や農家の思い、子育てのこと、町のこと、異文化交流などの紹介です。作り手の農家と消費者のお客様との間をできるだけ見えるようにし、お互いが信頼のもとでつながる関係がいいなと思っています。

―日本語を学ぶ後輩へのメッセージがございましたら、ぜひお聞かせください。

東京国際日本語学院で日本語を勉強していたある日、横小路学院長からサッカーのトヨタカップのチケットをいただきました。受験日が近いこともあって、僕は日本語能力試験1級に向けて勉強をしていたのですが、横小路学院長は「勉強ばかりしてないで少し休みなさい」と言ってチケットを下さったのでした。後輩の皆さん！ 皆さんの頑張る姿は誰かがちゃんと見てくれています。日本語を通じて自分の夢に一歩近づくのはもちろん、日本人の本当の優しさを体験できることを願っています。

あちこち
日本語ご紹介

国内編

鹿児島県　奄美市

奄美と世界を結ぶ懸け橋に

カケハシインターナショナルスクール・奄美校
教務主任　山崎会理

はじめに

カケハシインターナショナルスクール・奄美校は、2015 年 10 月、奄美群島初の日本語学校として、奄美大島の中心地である奄美市名瀬地区に開校しました。背景には人口の減少による人材不足、世界自然遺産登録に向けての国際化、観光産業の活性化など、島が抱える課題を解決する糸口となりたいという思いがあります。

2017 年 3 月には第一期生の卒業を迎え、14 名の学生が東京など都市部の大学、大学院、専門学校、また地元奄美大島の専門学校への進学、日本企業への就職と、それぞれの進路に向かって巣立って行きました。2018 年 2 月現在、アジア各国から約 30 名の学生が在籍しています。

島の日本語学校になる

「離島に日本語学校をつくる」。おそらく日本でも初に近い試みに、期待の反面、大きな懸念もありました。果たして外国人が島民に受け入れてもらえるだろうか。私自身、開校に合わせて千葉県からの移住となり、奄美で暮らすことは初めてでした。文化やしきたりなどが知識としては頭にあっても、実際にどんな問題が起こるのかは想像がつきません。とにかく手探りで少しずつ進んで行こう、そんな始まりでした。

しかし、開校してすぐにその心配は吹き飛ぶこととなりました。奄美の方々は穏やかな島の気候そのものに、温かく留学生を迎え入れて下さいました。島のおおらかでゆったりとした気質はアジア各国からの学生にとって故郷と通じるものがあるようで、馴染むのも早いように思います。

留学生たちは学校と週 28 時間以内のアルバイトをしながら、日々を過ごしています。学校では授業後、分からないところやもっと伸ばしたいところ、JLPT 直前対策などの補講を行っています。自主的に漢字を自習したり宿題をしている学生もいます。

食事は自炊がほとんどで、地元のスーパーで魚のアラを買ってきてスープを作るなど安く済ませるよう工夫しています。ありがたいことにアルバイト先の方に食材や果物をもらうことも多いようです。

土日はアルバイトをしたり、友人やアルバイト先の方々と遊びに出掛けたりしています。暖かい季節にはカヌーを楽しんだり、釣りをしたり。アルバイト先で食事や観光スポットに連れて行ってもらったと写真を見せてくれることも多く、島に溶け込んでいる様子が見受けられます。

スーパーやアルバイト先など生活の殆どが自転車と徒歩圏内にあり、学校スタッフは学校の外でも学生と顔を合わせる毎日です。

マングローブでカヌーを楽しむ留学生たち

月に一度の浜辺の清掃活動

地域コミュニティの結束も強く、町全体が一つの大きな家族のような感覚です。

学校としても島の一員として地域とのつながりを大切にしたいと考え、月に一度学生たちと近隣の河川や浜辺の清掃を行っています。また、地元ラジオ局への出演や、保育所や高校訪問、交流会の開催など、地域の方々に留学生や日本語学校を身近な存在として感じてもらえるよう様々な活動をしています。

島の伝統文化を伝える

まさに生物の楽園ともいうべき奄美大島には、豊かな伝統文化が生活に根付いています。「三献（さんごん）」と呼ばれる正月料理で新年が始まり、「餅の花」を飾り、祝い事には「六調」、夏には集落ごとの「八月踊り」を踊る。宴の席では「三線（さんしん）」を弾き、「島唄」を歌う。そして、世界三大織物の一つである「大島紬」。大島紬の先染めである「泥染め」は世界で唯一奄美大島だけで行われている天然の染色方法です。これらの素晴らしい文化をぜひ留学生にも体験してほしい、そして留学生を通して世界へ広めることができればと、課外活動としてカリキュラムにも取り入れています。

今後の展望

現在は進学コースのみの開設ですが、今後は大島紬を始め、継承者不足が問題となっている島の文化を学ぶコース、また、世界自然遺産登録に向けた観光産業、高齢化に伴う介護人材の育成コースなど、島民と留学生双方のニーズに合わせたコースを開設予定です。奄美大島で学んだ留学生にとって、カケハシインターナショナルスクールが礎となり、この名の通り奄美と世界を結ぶ懸け橋となることができれば、これほど幸せなことはありません。

あちこち 日本語ご紹介 | 海外編

クロアチア共和国　ザグレブ

アドリア海を臨む美しい中東欧の国から

ザグレブ大学
日本語教師　村田恵美

クロアチアの日本語事情

クロアチアと聞いて、どこに国があるかすぐに思い浮かびますか？　クロアチアは、イタリアと海を挟んだ東側にあります。

国面積は、四国と九州を合わせた大きさといわれ、形はちょうどひらがなの「く」の字を少し平たくしたような形をしています。「く」の上の部分は東西に長く延び、ハンガリーやセルビアの方へと内陸部に入ってきます。「く」の字の下の部分は、イタリアと沿うように上下に長く伸びています。クロアチアの海岸部は、夏になると、ヨーロッパを初めとした多くの国から観光客が集まります。観光業はクロアチアの産業を支える大きな産業の一つです。特にジブリ映画「魔女の宅急便」の街のモデルの一つになったともいわれている、海岸地域南部のドゥブロブニクは、1年を通して多くの観光客が訪れます。昔は日本人を見かけることは珍しいことでしたが、最近は日本人観光客も多く、1年を通して日本人が訪れています。そのため、観光業界で活躍している卒業生や、アルバイトをしている学生もいます。

クロアチアの日本語教育

クロアチアの日本語学習者は175名（2015年）で、国内で日本語を勉強できる機関は、大学などの高等教育機関、語学学校、日本友好協会の有志団体、公立小学校での取り出し授業等です。

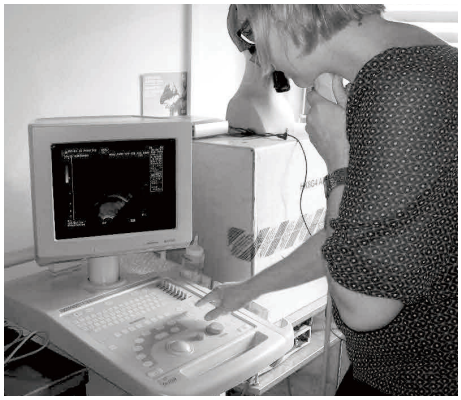
2008年には日本語教師会ができました。初めは10名以下の会員で、日本語母語話者の教師が中心の活動でしたが、2018年は会員が19名になり、現地教員が日本人教師よりも多くなりました。非母語話者の教員は、主に教師として戻って来た教え子のため、大変頼もしく感じています。主な活動は、国外から先生を招いての勉強会、大使館や大学と共催するスピーチコンテストです。昨年のスピーチコンテストでは、岩手県と青森県へサマーキャンプのボランティアをしに行った学生がスピーチ部門で優勝、「きらきら星」を歌った子どもがパフォーマンス部門で優勝しました。

ザグレブ大学哲学部について

現在の勤務校であるザグレブ大学哲学部は、言語教授法の一つ、ヴェルボトナル法を創案されたペタル・グベリナが設立した音声研究室（現在は音声学科）がある大学です。

筆者がクロアチア語を受講していた時に、発音クラスの先生にお願いして、この音声学科の研究室を見せていただきました。発話時に舌の位置を確認できる機械、周波数を調整することで発話の矯正を試みる機材があり、大変興味深いものでした。これらの機材は、今でも発話矯正に使用されていて、先月大学のオープンデーが行われた際には、筆者もクロアチア語のＲとＬの発話を直す体験をしてきました。

この哲学部に3年間の日本学コースが2004年に設立されました。正規学科ではないため、基本的にザグレブ大学に在籍している学生が、専門の科目が2年次を修了した時に、選択できるコースになっています。このコースの学生達は、他言語や、理数系の学部・学科も専攻しており、学期末のプレゼンテーションでは日本文化をただ紹介するだけでなく、国際政治の視点から述べる高度経済成長、ポップカルチャーと経済戦略、人気ゲームから見える日本人論等、自分の専門分野の知識から分析し考察するため、個性的で面白い発表が多いです。


音声学科の研究室にある舌の位置を確認する機械

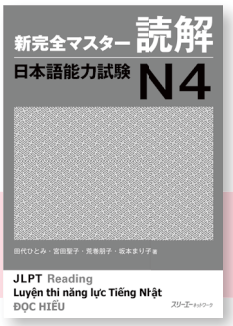
学生達は、日本語だけでなく、日本の歴史、文学、言語学等も勉強します。また、日本語能力試験を受けたり、スピーチコンテストに参加したり、最近ではリュブリャーナ大学（スロベニア）、ベオグラード大学（セルビア）、本校をインターネットでつないで、国を超えた「日本研究フェスタ」という日本研究発表会にも参加しました。

卒業後は、専門分野を活かして就職をしたり、国費推薦や協定校などへの留学機会を得て、日本や近隣諸国に留学などしています。

これから

現在、日本学を履修している学生は日本への留学や就職を希望している学生が多いです。そのため、学生達の日本語能力を伸ばすことはもちろんのこと、次の進路へ進むための選択肢を増やしていけたらと思っています。

教材紹介



『新完全マスター読解 日本語能力試験 N4』

田代ひとみ・宮本聖子・荒巻朋子・坂本まり子　著
B5 判　108 頁　別冊 26 頁　1,200 円＋税　5 月発行予定

東京外国語大学 留学生日本語教育センター 非常勤講師　田代ひとみ

本書は試験対策としての、また全般的な「読解」の力をつけることを目指しています。初級の授業は口頭でのコミュニケーションが中心であるため、文章を読む機会が少ないです。特に非漢字圏の学習者は、口頭表現がうまくできても読解が苦手という人が少なくありません。そこで、本書ではさまざまな練習を重ねながら、文章を読むことに慣れ、読解の力をつけていくことをねらっています。

■本書の構成と内容

実力養成編

第 1 部　読む力をつけよう

文章を読むために注意すべきポイントの練習をします。

第 2 部　問題に答える力をつけよう

試験と同じ形式の例題を解いて練習します。一つ一つの問題に、答えの導き方を説明した解説がついています。

第 3 部　たくさんの問題をやってみよう

試験と同じ形式の問題を数多く練習できます。

模擬試験

■本書の特長と指導のヒント

読解にスムーズに入れるような練習…第 1 部は、文型の組み合わせ、文の切れ目、説明する部分と名詞など、読解で注目すべきポイントを紹介しています。これらを意識させれば読解力の基礎をつくることができますので、ここから始めることをおすすめします。

マークで読み方を示す…初級後半からは文章に長い文が増えてきて、難しさを感じる学習者もいます。そこで、第 2 部では読解のために必要なさまざまなポイントを、マークで図式化して解説しました。学習者の理解度に応じて取り上げてください。このような解説をとおして、文章中の各文の関係や、長い文の構造を理解する力がつき、読解力が養われます。

くわしい「解答と解説」…経験の浅い先生でもすぐに使えるように、別冊に解答とくわしい解説をつけました。正しい答えを導き出すためのヒントと、誤答がなぜ間違っているのか説明があります。

本書を通じて学習者が日本語の文章を読むことに慣れ、その楽しさに気づくことを著者一同願っています。

NOW PRINTING

『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語―就活から入社まで―』

村野節子・山辺真理子・向山陽子　著
B5 判　103 頁　別冊 12 頁（予定）　CD1 枚付　1,700 円＋税（予価）　5 月発行予定

武蔵野大学非常勤講師　村野節子

特徴

本書は中級から中上級レベルの学習者を対象としたビジネス日本語教材で、既に出版されている上級者向けの教材『ロールプレイで学ぶビジネス日本語』の姉妹編です。日本国内の企業や海外の日系企業で日本語を使って仕事をするための基礎力を付けることを目指しています。大学の学部や専門学校のクラス授業などで使用することを想定していますが、すでに就職している方々の学習用に使うこともできます。

本書は就職活動から入社直後までの流れが分かるような場面を設定し、その中に必要なタスクを組み込んであります。タスクを通してビジネス場面で必要な日本語の運用能力を養成すると同時に、ビジネス場面でよく使用される文型・表現や、就職活動を含む日本の企業文化についての知識も学べるようになっています。

本書の構成

7 つのユニットで構成されています。各ユニットは 2 課からなり、全部で 14 課あります。前半の 3 ユニットは学生編として就活準備から面接の場面、後半の 4 ユニットは新入社員編として入社直後から数ヶ月の社内場面のモデル会話を提示してあります。場面は全体として時間軸に添って進むようになっています。

内容

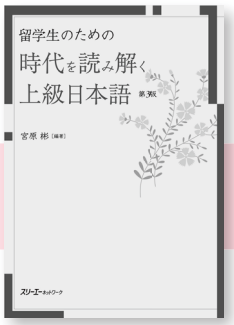
モデル会話には日本の大学に通う中国人女子学生とベトナム人男子学生が登場します。タスクはロールプレイ、ディスカッション、メールなどの文書作成が難易度を考慮して配置してあります。また、日本の企業文化理解のためのディスカッション用のケーススタディが各ユニットの最後に入っています。

使い方

会話の授業の場合はモデル会話、ロールプレイ、ケーススタディのみを取り上げることも可能です。また就職活動を終えている場合は、後半の新入社員編から使用するといいでしょう。

ロールプレイの使い方としては状況を読んで会話練習をするのが一般的ですが、会話をペアやグループで書かせ、発表させても、会話の流れや表現・文型を確認する手段として有効だと思います。

『留学生のための 時代を読み解く上級日本語 第３版』



宮原 彬　編著
B5 判　284 頁（予定）　2,000 円＋税　5 月発行予定

元長崎大学教授　宮原 彬

本書は中級段階を終えた学習者のための総合的な日本語教材で、『留学生のための 時代を読み解く上級日本語 第２版』(2012 年 11 月発行）の改訂版です。

第２版と同様 26 の課から成り、「生活」「少子高齢社会」「教育」「企業と労働」「科学技術と人間」「自然と人間」に分類されています。各課は、本文、「漢字の読み方と語句の使い方」「話す練習」「書く練習」で構成されています。巻末に「語句の用例」が辞書形式で載っています。

本文はいずれも現在の日本社会の実情を反映した文章です。本文を読み、その内容について学習者の母国の状況とも関連させて話したり書いたりする作業を通じて総合的な日本語力をつけることを意図しています。

本文は、新聞記事や各種の「新書」から取られています。今回、第２版の 26 の課のうち 14 の課を入れ替えました。第２版では東日本大震災に関連するものを多く取り入れましたが、今回はそれを減らし、「ＡＩ」「ビッグデータ」「タバコ」「地球温暖化」といったテーマを入れました。

本書の特長として、それぞれの日本語コースの状況（目的、学習期間、学習時間、学習者の興味・関心など）によって、課や「練習」を選択して使えるという点があります。「語句の使い方」をその語句が出てくるたびに取り上げていますので、１課から順番にやる必要はなく、また、各課の「練習」をすべて扱う必要もありません。

本書の作成に当たっては、教える先生方と学習者の負担を減らすことに留意しました。「選択して使える」という点もその一つですが、本文に「注」をつけたこと、既に初級や中級で学習済みの語句でも学習者のとまどいや誤用の多いものは「語句の使い方」「語句の用例」で取り上げたこと、などです。

本書を材料に、現在の日本や学習者の母国の状況について改めて考え、自身の思いを気軽に話し書く中で日本語力の向上を図ってほしいと願っています。

『ＢＪＴビジネス日本語能力テスト 聴解・聴読解 実力養成問題集 第２版』

NOW PRINTING

瀬川由美・北村貞幸・植松真由美　著
B5 判　215 頁　別冊 45 頁（予定）　CD ２枚付　2,500 円＋税　6 月発行予定

『ＢＪＴビジネス日本語能力テスト 読解 実力養成問題集 第２版』

NOW PRINTING

瀬川由美　著
B5 判　113 頁（予定）　1,200 円＋税　6 月発行予定

一般財団法人国際教育振興会 日米会話学院 日本語研修所　講師　瀬川由美

本シリーズは「BJT ビジネス日本語能力テスト」の実力養成問題集として、「聴解・聴読解編」と「読解編」の２冊から成っています。BJT が 2017 年 4 月に CBT 方式に変更になったことを受け改訂しました。「聴解･聴読解編」は、聴解テストと聴読解テストに、「読解編」は読解テストにそれぞれ対応しています。出題傾向を踏まえた様々なパターンの問題を実際のテスト問題より多く用意しました。各セクションの前には、「問題分析」が日本語のほか、英語、中国語、韓国語訳で載っています。本書の目的は、学習者が BJT のテスト形式に慣れることによって出題傾向を掴み、それぞれの受験目標に到達することです。

問題を解くにあたっては、単に言葉の理解だけでなく、日本のビジネス習慣や社会的文化的背景を含めた総合的な理解力・判断力が必要です。本書はビジネス上のコミュニケーションスキルを向上させることにも役立つでしょう。なお、「聴解・聴読解編」では、ビジネスでよく用いられる言葉や表現を別冊「必携・重要ビジネス用語表現集」にまとめました。隙間時間に取り出して語彙力の強化を図って下さい。音声は付属の CD のほか、スリーエーネットワークのウェブサイトでも聞くこともできます。

【効果的な学習の進め方～聴解・聴読解編】

1. 各セクションにある「問題分析」を読む。
2. 音声を止めずに問題を解く。
3. 「スクリプト・解答・解法」を見て確認する。
4. 音声にしたがって音読する。
5. 別冊の「必携・重要ビジネス用語表現集」を確認し、語彙力を強化する。

BJT は日本語の知識があることを前提に、与えられた情報を適切に処理する能力を測るテストです。そのため、JLPT の N1 合格者であっても、BJT の J1+ を取るのは至難の業です。本書がさらに上を目指す学習者の助けになれば幸いです。

なんでも情報 BOX

Books ほん

すべて本体価格です

みんなの日本語 初級Ⅰ 第２版 翻訳・文法解説 ビルマ語版	５月発行予定	2,000 円
新完全マスター読解 日本語能力試験Ｎ４	５月発行予定	1,200 円
中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語―就活から入社まで―	５月発行予定	1,700 円
留学生のための 時代を読み解く上級日本語 第３版	６月発行予定	2,000 円
ＢＪＴビジネス日本語能力テスト 聴解・聴読解 実力養成問題集 第２版	６月発行予定	2,500 円
ＢＪＴビジネス日本語能力テスト 読解 実力養成問題集 第２版	６月発行予定	1,200 円
みんなの日本語 初級Ⅱ 第２版 聴解タスク 25	６月発行予定	2,400 円

Seminars セミナー

介護に関わる外国人への日本語指導 ～『はじめて学ぶ介護の日本語　基本のことば』を使った授業の一例～

講師：三橋麻子、丸山真貴子（明海大学・大原学園非常勤講師）
日時：６月９日（土）14:00-16:00（受付開始 13:30）
会場：ウインクあいち　会議室 903
（愛知県名古屋市中村区名駅４丁目４-38 愛知県産業労働センター）
定員:80 名（先着順。定員になり次第締め切ります。）
参加費：無料
主催：スリーエーネットワーク

初級後半から導入する「読解」のポイント ―『新完全マスター読解 日本語能力試験Ｎ４』の構成と特長から―

講師：田代ひとみ（東京外国語大学　留学生日本語教育センター　非常勤講師）
日時：７月 28 日（土）14:00-16:00（受付開始 13:30）
会場：弘済会館４階　会議室「菊」
（東京都千代田区麹町５-１）
対象：日本語学校、専門学校、大学で日本語を教えていらっしゃる方
定員:90 名（先着順。定員になり次第締め切ります。）
参加費：無料
主催：スリーエーネットワーク

能動的な読み書きの力を養う中級の指導 ー『改訂版　日本語中級Ｊ 301 ー中級前期ー英語版』を使ってー

講師：関正昭（元東海大学教授）
外崎淑子（東海大学准教授）
内容：第１部　教材の理念、特長と構成
第２部　教材を使った具体的な中級の指導とそのポイント
日時：８月 18 日（土）14:00-16:00（受付開始 13:30）
会場：愛日会館　２階イベントホール
（大阪府大阪市中央区本町４-７-11）
対象：日本語学校、専門学校、大学で日本語を教えていらっしゃる方
定員:80 名（先着順。定員になり次第締め切ります。）
参加費：無料
主催：スリーエーネットワーク

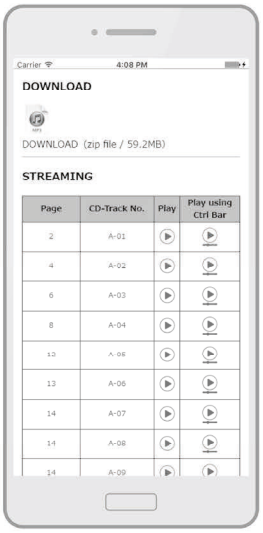
問合せ／申込み先
スリーエーネットワーク講座係
〒 102-0083　東京都千代田区麹町３-４トラスティ麹町ビル２F
TEL：03-5275-2722　FAX：03-5275-2729
E-mail：kouza@3anet.co.jp
お申込みの際は、セミナー名（開催日）・お名前・ご所属・ご住所・お電話番号・日本語教授歴を明記してください。電話での申込みはお受けできませんので、FAX、E-mail、はがきにてお申込みください。

Information お知らせ

「新完全マスター聴解 日本語能力試験」シリーズ、付属 CD の音声を公開しました

書籍付属の CD を聞くプレーヤーをお持ちでない方向けに、ウェブサイトからも音声を聞いていただけるようになりました。ダウンロードとストリーミングを選べます。

『新完全マスター聴解 日本語能力試験Ｎ１』
http://www.3anet.co.jp/ja/6400/
『新完全マスター聴解 日本語能力試験Ｎ２』
http://www.3anet.co.jp/ja/6402/
『新完全マスター聴解 日本語能力試験Ｎ３』
http://www.3anet.co.jp/ja/6404/
『新完全マスター聴解 日本語能力試験Ｎ４』
http://www.3anet.co.jp/ja/6314/



『新完全マスター語彙　日本語能力試験Ｎ２』索引の英語訳を新たに公開しました

『新完全マスター語彙 日本語能力試験Ｎ２』で取り上げる 2,283 語の語彙と、それらの英語訳を無料でダウンロードしていただけます。プリントアウトしてお使いください。英語訳のほかに、ベトナム語訳も公開しています。
http://www.3anet.co.jp/ja/6439/

『新完全マスター語彙　日本語能力試験Ｎ２』
索引（英語訳付き）
スリーエーネットワーク

あ		
相変わらず	as before/usual	7, 125
相次いで	one after the other	107
～相手	～ partner	55
アイデア	idea	112
あいにく	unfortunately	137
あいまい	vague, unclear	107
遭う	encounter	58
～合う	with/to/at each other	160
青白い	pale	22
赤字	deficit, loss	62
あがる	get nervous	113
～上がる	be completed (includes the meaning of upward movement)	19, 23, 160
飽きっぽい	soon get tired of	6
預ける	entrust, leave with	54
汗	sweat	34
遊び回る	play around	160
与える	give	82
あたかも	as if	131
温かみ	warmth	129
温まる	warm up	178
暖まる	warm up	178
温め直す	reheat	160
温める	heat/warm up	178
暖める	heat/warm up	178
頭が上がらない	can't compete with	148
頭が痛い	gives someone a headache	148
頭が固い	obstinate, stubborn	148
頭に来る	get mad	113, 148
頭を下げる	bow one's head	148

『人を動かす！ 実戦ビジネス日本語会話 中級 1』『同 中級 2』のベトナム語訳を公開しました

豊富な談話練習が収録されたビジネス会話教材『人を動かす！ 実戦ビジネス日本語会話 中級』の「表現」と「語彙リスト」のベトナム語訳を無料でダウンロードしていただけます。プリントアウトしてお使いください。
『中級 1』http://www.3anet.co.jp/ja/6433/
『中級 2』http://www.3anet.co.jp/ja/6434/

Ja-Net No. 85 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア（Asia）、アフリカ（Africa）、ラテン・アメリカ（Latin America）の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2018 年 4 月 25 日発行
●発行人　藤嵜政子
●発行所　（株）スリーエーネットワーク
Ja-Net 編集室
〒 102-0083 東京都千代田区麹町３-４
トラスティ麹町ビル２F
TEL：03-5275-2722　FAX：03-5275-2729
E-mail：sales@3anet.co.jp
http://www.3anet.co.jp/
●印　刷　（株）ワコー
© 2018 by 3A Corporation　Printed in Japan
（禁無断転載）

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。
『Ja-Net』第 86 号は 2018 年 7 月 25 日発行です。